

第14回追手門学院大学杯観戦記



茨木市スポーツ少年団 野球部会 Aブロック長 清田 盛雄

スポーツ少年団に所属する全15団の中から所属する各ブロックのリーグ戦を勝ち抜き選出された計8チームが追手門学院大学のグラウンドに集い、ブロック選抜の頂点を目指し、冬の厳しい寒さを吹き飛ばすほどの熱闘を繰り広げました。開会式・2日目は好天に恵まれ、3日目は朝の時点では小雨が降っており時間の延期等の心配も出ましたが、試合開始前には雨もやみ、予定通りに全試合を終えることができました。

どの試合もさすがに各ブロックを勝ち上がったチーム同士での試合であり、白熱した好ゲームで一挙手一投足いずれも緊張感のある攻防でした。新チームであった春先には、まだまだこれからと思うプレイが多く見られましたが、卒団までのラストスパートに入った今大会では一回りも二回りも大きくなった体とともに、随所に力強さと野球脳の成長を感じさせるプレイを見ることができました。また、グラウンド内を駆け回る選手、ベンチ、応援席が一体となって、たった一つの白球を追いつけ盛り上がる姿に、見ている我々も感化され手に汗を握りながら真剣に見入ってしまいました。

決勝戦では今大会好調な中池ファイターズと試合巧者の中条ウイングスで行われましたが、自力に勝つ中条ウイングスが偶数イニングすべてで2点以上挙げて完勝し前年に続き2年連続での優勝を飾りました。三位決定戦では茨木プレジャーズが特設フェンス越えのホームランなどで効果的に得点を挙げて安威インディアンズを下し、今大会から新設された第三位盾を手に入れました。

追手門学院大学グラウンドで行われる年一回の大会は我々運営側にとっても特別なもので、今年もこのグラウンドで年内の大会を締めくくることとなりました。

最後に、大会開催にあたり、多大なご尽力とご協力をいただいた関係者のみなさまに感謝申し上げます。ありがとうございました。



追手門学院大学 スポーツ研究センターニューズレター No.16

■ 編集・発行 2025年3月31日

■ 編集代表者 辰本 頼弘

■ 発行所 追手門学院大学 スポーツ研究センター

〒567-8620 大阪府茨木市太田東芝町1番1号

TEL/072(665)9217 (研究所・センター窓口)

E-mail sports@otemon.ac.jp

<https://www.otemon.ac.jp/research/labo/csr.html>